

STAR

ドライブプロウ

製品コード 19056・19057

型式一 MBP 2210
MBP 2212

取扱説明書 部品表

“必読” 機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社

ご購入の皆様へ

このたび当社製品をお買い上げいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、正しい取扱方法と正しい調整点検について説明してあります。よくお読みいただき、日常の作業の安全に又この機械の末永いご使用のためにお役立てください。

安全作業のために、これだけはぜひ守りましょう

安全作業のお願い

- 1・各部の点検・調整・給油・清掃などを行う時は、トラクタ（テイラー）エンジンを完全に止めてから始めてください。
- 2・トラクタ（テイラー）から離れる時は、エンジンを止めPTOを完全に止めてから駐車ブレーキ（輪留め）を、かけてください。
- 3・作業内容に合った正しい服装と、保護具を着用してください。
- 4・運転操作中、特に旋回・後退時には周囲に気をつけ、人を近づけないでください。
- 5・作業の前後には各部を点検し、調整・給油・整備を十分に行ってください。
- 6・取扱説明書に示す、正しい取扱方法によらない使い方をして、機械の損傷を招いたり、使用者が過失を起こしても、当社では、責任を負いかねます。

部品の注文について

- 1・部品のご注文の際は、下記項目をご連絡ください。
 - ① 機械名
 - ② 型式名
 - ③ コードNo.
 - ④ 部品番号
 - ⑤ 部品名称
 - ⑥ 個数
- 2・部品の納期については、部品表のNO. 欄に次の表示をしております。参考にしてください。
(例●2、○10、13)
●……市販部品（材料店、金物店で購入してください）。

- ……納期のかかる部品（2～6か月）
無……納期のかからない部品（即納～1か月）
- 3・部品番号の末尾に符号が記入されているものは下記の部品が含まれています。
(例BA0815A)
A；ナット・Sワッシャ
D；ダブルナット
N；ナット
P；ワッシャ
W；Sワッシャ
(G；メッキ仕上げ)

組立要領

本機は3Pフレーム関係部品のうち、ストラット・ステーを取外して出荷しています。これらを組立てる場合は、部品表と下図を参考にまず①の部分を取付け、仮締めしてから②、③、④、の順に①の部分を上り下りさせて穴の位置決めをしながら仮締めし、すべての位置が決まった後、各々のピン・ボルトを確実に締付けてください。

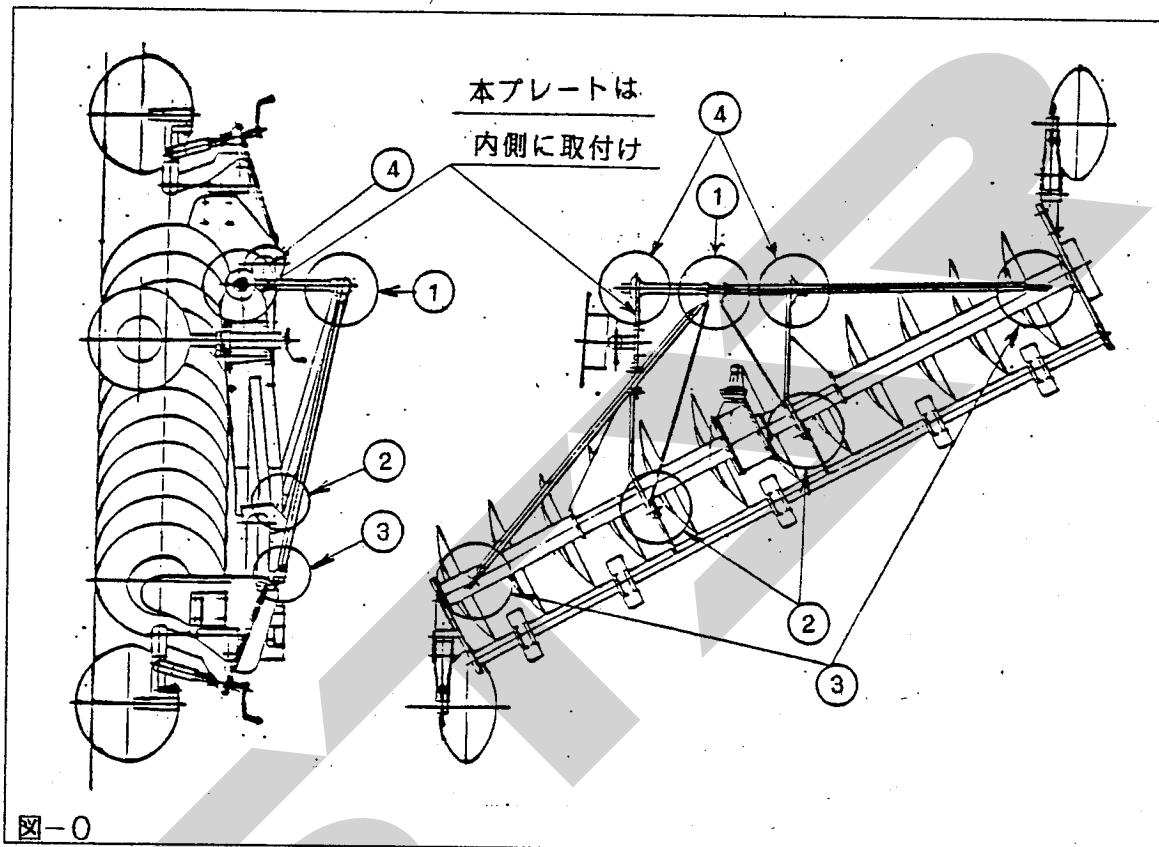


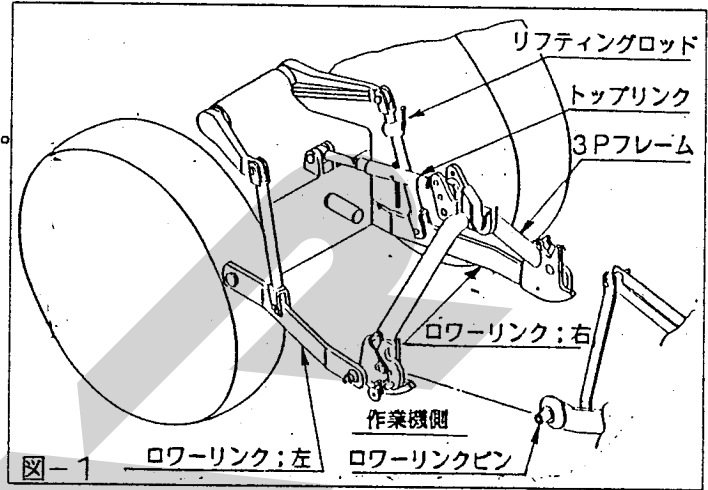
図-0

トラクタへの装着

本機は、トラクタとの装着を容易にする為3Pクイックカブラを装備しています。
トラクタへの装着は、次の順序で行なってください。

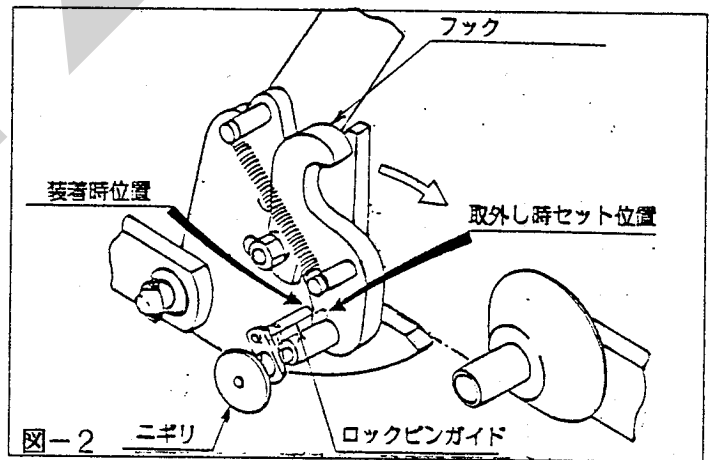
(1) 3Pクイックカブラの装着

- 1) 図-1のように3Pフレームをトラクタのローリンク左右及びトップリンクと連結してください。
- 2) この場合、左右のローリンク高さが同じになるように、トラクタのリフティングロッドで調節してください。
- 3) トラクタと3Pクイックカブラの中心を合せ左右の揺れがほとんどない程度にトラクタローリンクのチェックチェーンを張ってください。
- 4) トップリンクは、本機との連結がし易いように長目にしてください。



(2) 本機の装着

- 1) 3Pクイックカブラの両側ローリンク部が、図-2のようにフックが開の状態にロックピンガイドのピン先端が装着時の位置になっていることを確認してください。
- 2) このセット状態で3Pクイックカブラと本機の中心を合せて、トラクタを静かにバックさせてください。
- 3) 3Pクイックカブラのトップリンクフック部分で本機のトップリンク部をすくい上げるようにトラクタの油圧で機体を上げてください。
- 4) この操作でローリンク部は、自動的にフックが印方向に回転しロックピンは3Pフレームのプレート穴にセットされます。



[注意] ロックピンが確実にセット穴に入っているか確認してください。

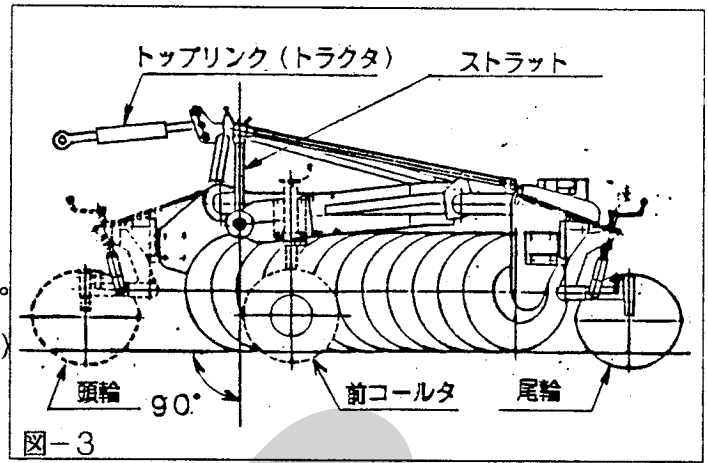
- 5) パワージョイントを取付けてください。
- 6) 本機の前後の傾きが適正になるようトップリンクの長さを縮めてください。

[注意]

- ①油圧を下げパワージョイントの長さを点検してください。
(最長時でも100mm以上の重なりがあり、最短時でも25mm以上の隙間があることを確認してください。)
- ②パワージョイントの、ロックピンが完全にセットされているか、点検してください。
- ③パワージョイントの、安全カバーの回り止めチェーンをセットしてください。
- ④油圧で機体を上げ、走行してみてトラクタの前輪が浮く場合は、トラクタの舵取りに支障がない程度まで、トラクタのフロントウェイトを装備してください。

(3) 本機の変勢調整

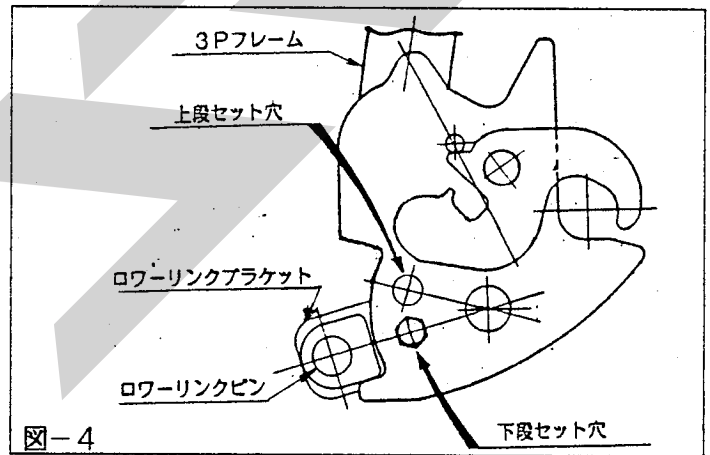
- 1) 左右の傾き
後方より見て、本機の傾きがないようにリフティングロッドで調整してください。
- 2) 前後の傾き (図-3)
横から見て、本機3Pのストラットが地面と垂直になるように、トップリンクで調整してください。(トップリンクの取付け穴位置は、作業時トラクタ側が下向きになる位置にセットしてください。)
- 3) 左右の揺れ
ドライブプラウ本体の横揺れが、10cm程度になるように左右均等にチェックチェーンを張ってください。



[注意] 振れた時に本機とトラクタが当たらないことを必ず確認してください。

(4) リフトアップ量の調整

- 1) 本機のローリンクピンの高さは、図-4のように3Pクイックカブラの左右のローリンクブラケットのボルトセット穴が下段の位置で出荷しています。
- 2) 装着後ロータ軸を回転させながら本機を油圧で上下に動かし、パワージョイントに異常音の発生がないか確認してください。



[注意]

- ① 異常音が発生する場合は、パワージョイントに角度が付きすぎているので、油圧上限を規制してください。
- ② 本機の最低地上高は、尾輪・頭輪・前コールドタなどの回転輪が最下部となるので畦越えを考慮してセットしてください。

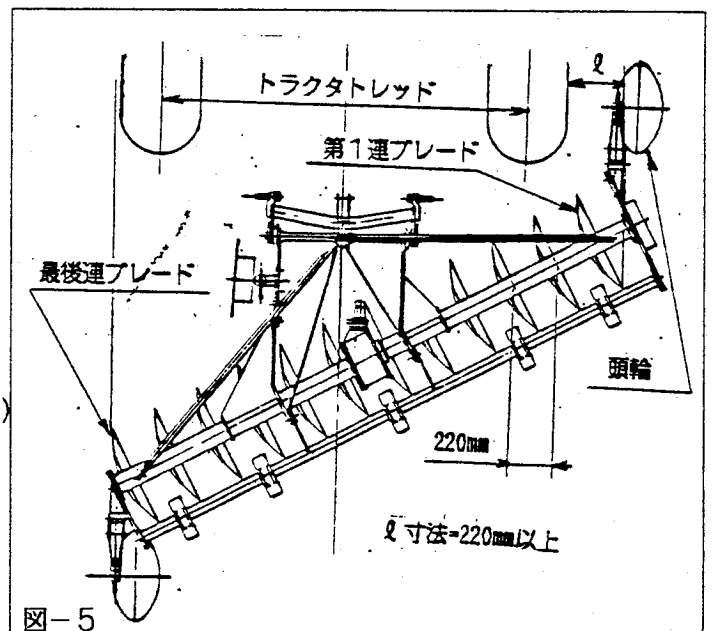
各部の調整

(1) トラクタに対するブレード位置

本機は、丘引き作業で使用します。

- 1) 最後連ブレード位置がトラクタ左後輪外側と一線となるか、それより外側になる状態で、第一連ブレード位置がトラクタ右後輪外側より、1連分(220mm)以上外側になる状態で作業します。
- 2) 本機右前部に頭輪を装備している場合は、トラクタ右後輪外側と頭輪とが本機の左右の揺れ(遊び)があった場合でも、接触しないか確認してください。

(接触する場合は、トラクタのチェックチェーンで本機が右側に移動するように調整してください。)



(2) 耕深

深く起したい場合……調節ハンドルを回し、尾輪及び頭輪又は、前コルタを上げてください。

浅く起したい場合……調節ハンドルを回し、尾輪及び頭輪又は、前コルタを下げてください。

[注意]

① トップリンクを調節すると、耕深が変わるのでその都度、尾輪又は前コルタの高さを調節してください。

② オプションの(広巾)ゲージホイールを使用している場合は、ピンの穴位置を変えて高さを調節してください。

③ 尾輪・頭輪・前コルタ・ゲージホイールの高さを上げて耕深が深くない場合は、ウェイト(オプション)を付加してください。

(3) 尾輪・頭輪・前コルタ・の進行角度

トラクタの前輪が取られる場合は、調節ボルトで進行角度を調節してください。

出荷時は、ピンの位置が長穴の中心でコルタの角度が内側へ3°傾いた状態でセットされています。

トラクタの右側のチェーンが張る場合……尾輪、頭輪、前コルタを右向きに調節してください。

トラクタの左側のチェーンが張る場合……尾輪・頭輪・前コルタを左向きに調節してください。

作業方法

(1) 耕法

1) 内返し(基本)

<1行程> 左側ブレードを圃場中央に合せ、耕深は、左側2/3、右側1/3程度。

<2行程> 左側ブレードは、1行程の時より少し深く、右側は1/3程度。

<3行程> 規定耕深で、2行程の『れき』がもとに戻る状態。

<4行程> 3行程同様、1行程の『れき』がもとに戻る状態。

<5行程以降> 規定の耕深・耕巾での作業を繰返します。

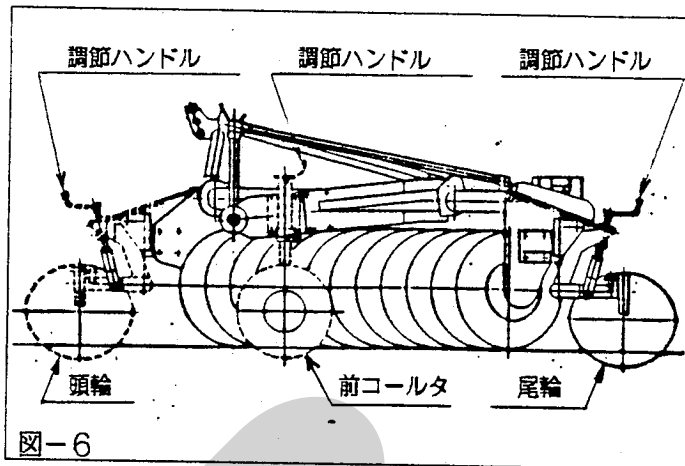


図-6

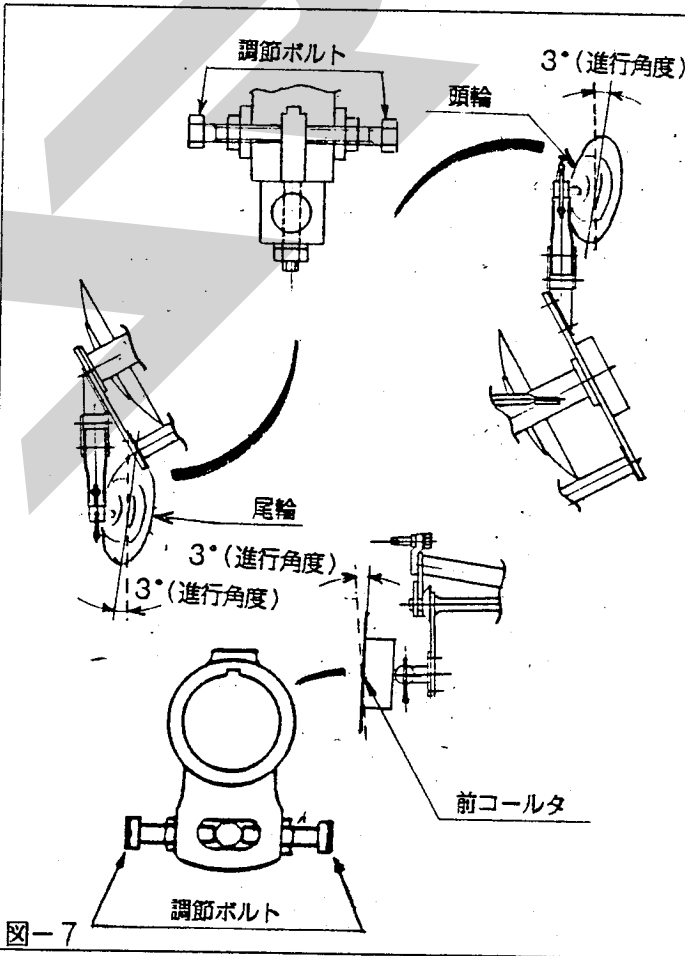


図-7

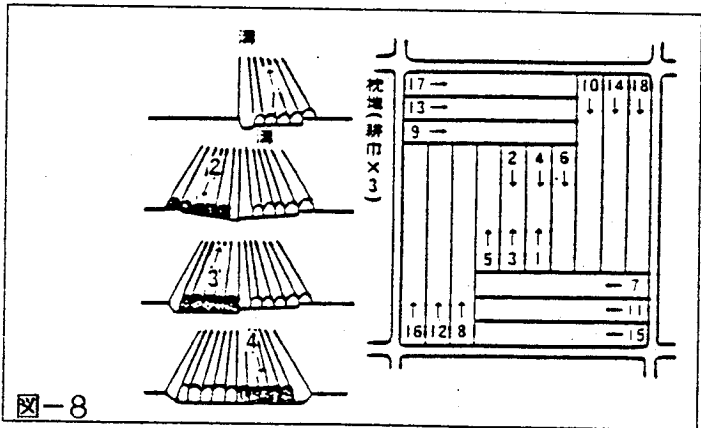


図-8

*1~2行程は、口開け作業で、流動性の悪い土壌の場合に行います。流動性が良く、代かきで中高を解消できる場合には省略して、3行程から始めてもかまいません。

*頭輪を装備している場合で流動性の良い土壌の場合の口開け作業では、頭輪の進行角度を3°以上傾けてそのまま口開け作業から通常の作業まで連続して作業することができます。

2) 外返し

内返し耕法を繰返すことにより、中高ができた場合次の耕起の時に行う方法

<1~4行程> 畦際は、耕深を左側2/3、右側1/3程度で内返しを行ないます。

<5~8行程> 規定耕深で1~4行程の『れき』が、もとに戻る状態。

<9行程以降> 規定の耕深・耕巾での作業を繰返します。

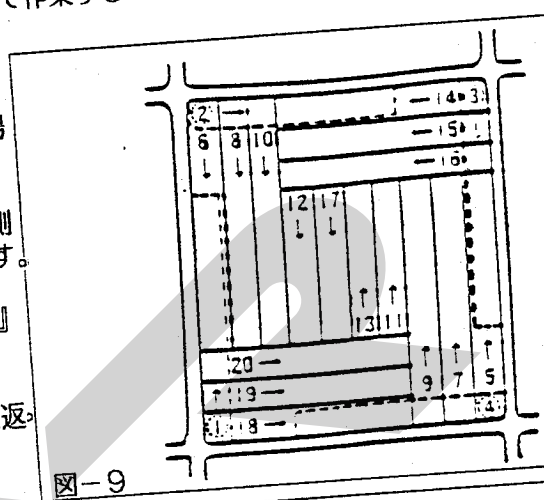


図-9

3) 残耕処理法

内返し、外返しを行なうと圃場の四隅に残耕がでる場合がありますが、図-10の手1のようにギヤングを畦に平行した方向で、四隅を2m程、3行程で耕起しておく、解消できます。

*尾輪を使用しないで行なうと、畦際まで耕起できます。(尾輪を上方へ、ロックして行ないます。)

4) 畦際処理法

図-10の手2のように左側タイヤ外側と、右側ブレードを一直線にすることにより、畦際がきれいに仕上がります。

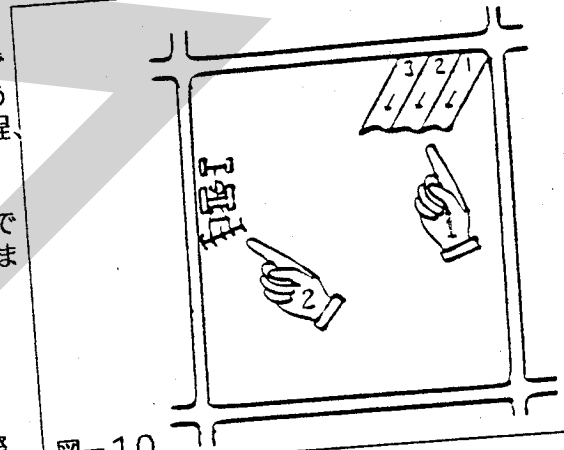


図-10

(2) 作業

1) 作業速度
2~6 km/hr

2) 耕深
ブレード規格22インチ...標準18cm
(最大23cm)

附属部品とその利用方法

(1) ウェイト (1個: 20kg, 5個標準装備)

尾輪・頭輪・前コールタ・ゲージホイールを夫々の組合せに応じて高さ調整しても規定のが耕深が得られない(圃場が硬い)場合、ウェイトを付加します。圃場条件により異なるがウェイトを1個付加すると耕深が1~2cm増加します。

[注意] 頭輪を装備していない場合には右図例の番号順のように左側が少し重目になるように付加してください。

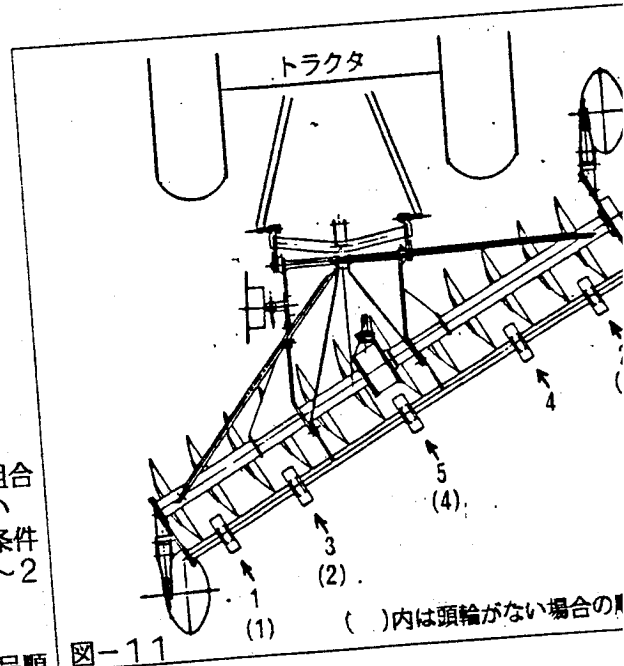


図-11

(2) スクレーパー (オプション)

土質及び土壌水分により、フラワーブレードに土が付着する場合がありますが、これを掻き落すのがスクレーパーです。スクレーパーブラケットを介してサブフレームに取り付け、フラワーブレードの内面より、3mm程度の間隔に調整します。

(3) 前コルタ

トラクタ装着状態でトラクタトレッド (タイヤ外巾) との関係で、本機右前部に頭輪を装着するとトラクタ右後輪に当たる場合、前コルタを取付けます。

前コルタの装着基準は、適応トラクタの関係から次のようにしています。

- 10連の場合……前コルタ標準装備 (頭輪オプション)
- 12連の場合……前コルタオプション (頭輪標準装備)

[注意] 前コルタ取付け時、本機フレームのロワーリンク部左側のプレートの穴が、前コルタ取付けブラケットが垂直に取付くようになっているか、確認してください。

(4) 頭輪

頭輪は、前述のように10連の場合オプションです。トラクタトレッド (タイヤ外巾) との関係で右前部に頭輪装着のスペースがあり、より安定した作業を行いたい場合は、頭輪を取付けて作業するとより効果的です。

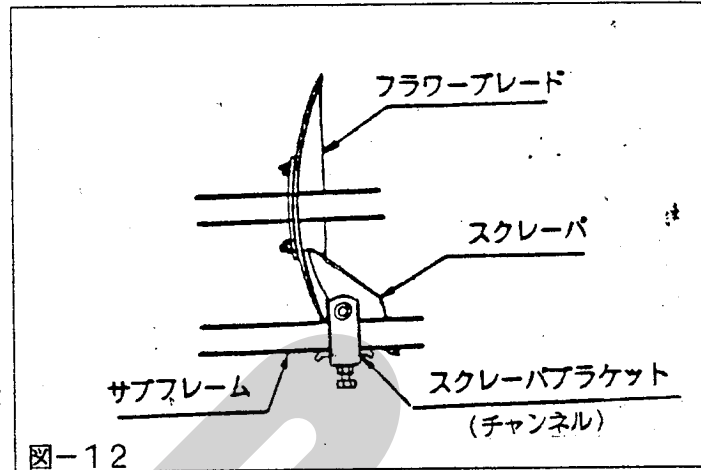


図-12

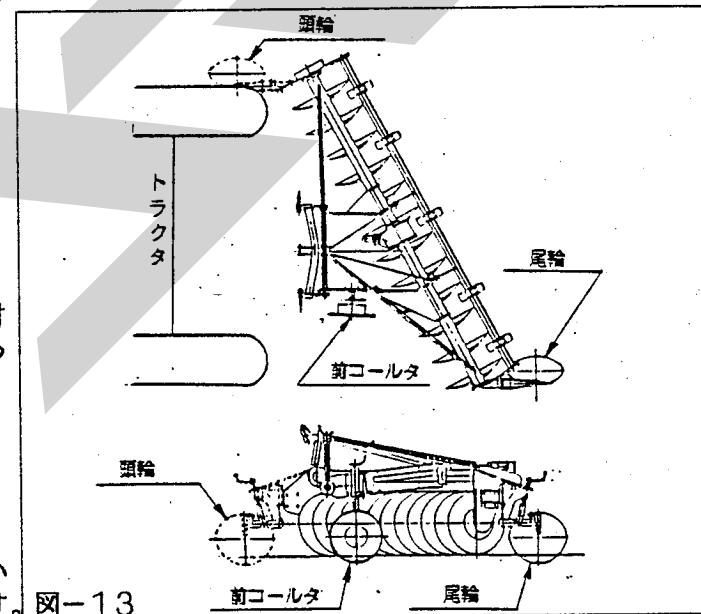


図-13

(5) ゲージホイール (オプション)

軟弱地などの圃場条件で尾輪と頭輪又は、前コルタの高さ調節をしても耕深が安定しない場合は、広巾のゲージホイールアタッチメントを準備しているので本品を使用してください。

- 1) 本品は、前コルタ取付け用の穴に取付けてしてください。
- ① 従って本品を使用する場合は、前コルタは使用できません。
- ② 本品取付け時、前コルタ取付け時の (注意) と同様、本品が垂直に取付くようになっているか、確認してください。
- 2) ゲージホイールの高さ調節は、ピン穴の位置を変えて、行なってください。

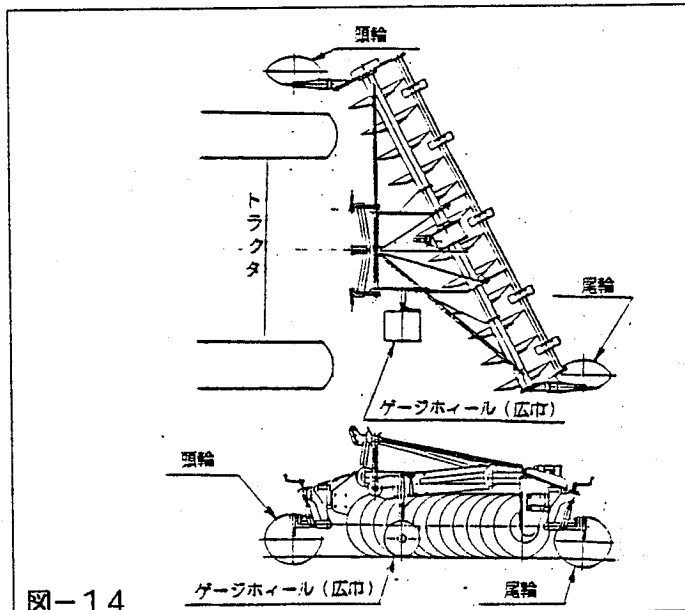


図-14

保守管理

(1) 日常点検

- 1) 作業終了時は水洗いし、土の付着をきれいに流しましょう。
- 2) 清掃後は、各部を給油しボルト・ナットの緩みを点検してください。
- 3) 長期格納にあたっては、特にブレードはサビが発生しないようグリースなどを塗っておきましょう。
- 4) 格納において、ブレード・コルタ・尾輪は、台木をしておいてください。

(2) 給油

- 1) ギヤボックス・チェーンケースのオイルは、第1回目は、50時間で交換し以後シーズンごとに交換してください。

ギヤボックス ; 2.2ℓ

チェーンケース ; 2.0ℓ

- 2) 各回動部へのグリースアップ・注油は、使用することに適宜行ってください。

ブレードの交換

(1) 交換手順

- 1) 本機をトラクタに装着し、油圧でブレードを少し浮かします。

*この時油圧は必ずロックする。(バルブを閉める。)

- 2) 交換するブレードのボルトを緩める。1個のブレードは、M12x28の角根ボルト4本で取り付けてください。
- 3) 新しいブレードを取り付けます。(締付トルクは850kg-cm)
- 4) ロータ軸に近い方(内側から)のボルトから緩めてください。

(2) ブレード交換の目安

- 1) ブレードの半径で約1" (25mm)を目安にします。ブレードが摩耗してくると、耕深が摩耗した半径分だけ浅くなります。すなわち、20" (510mm)ブレードが半径で1" (25mm) 摩耗すると最大耕深200mm→175mmとなります。

- 2) 交換地には全数(1台分)交換を原則とします。
- 3) ブレードが摩耗しても反転性能は、変わりません。

*曲率には変化はありません。

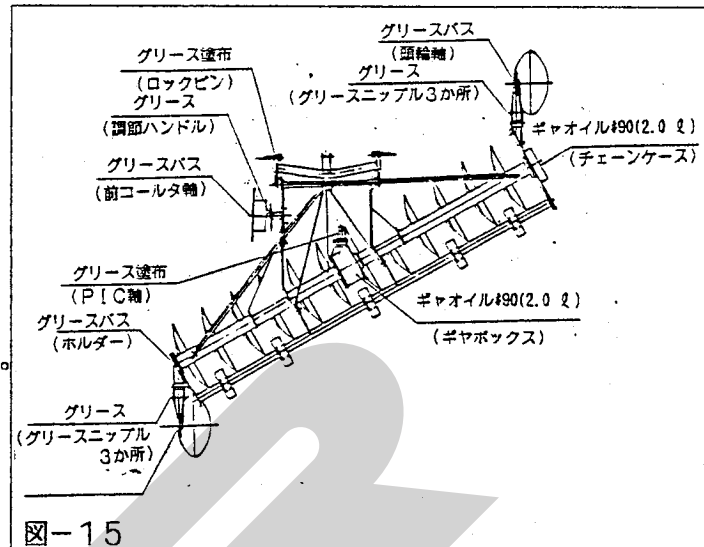


図-15

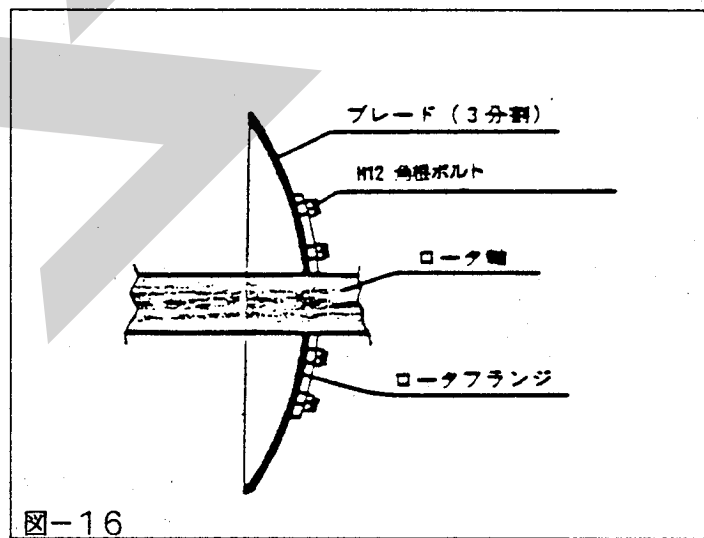


図-16

参考 ブレードの摩耗

摩耗については、土質・土壌水分等によって大きく変化します。
一般的な土壌系土質では、約40haの使用面積でブレード半径が25mm摩耗します。

安全対策

各部を調節するとき、PTOクラッチを切りエンジンを止めて行ってください。

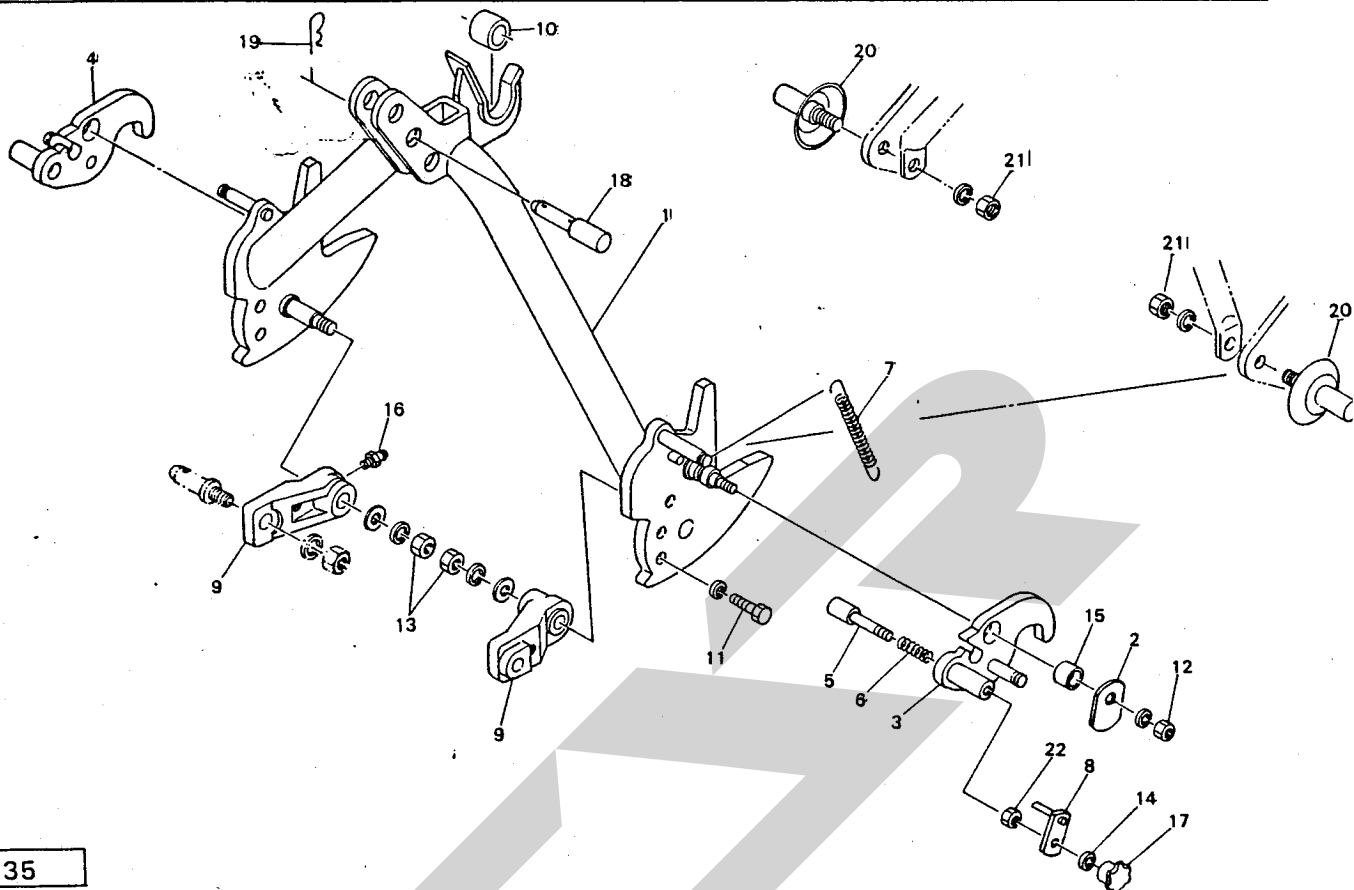
発進時にフロントが浮く場合は、バンパーに、ウエイトを装備してください。

水田・畑地への出入走行で傾斜がある場合、バックにて低速で行ってください。

作業時には、人・家畜等が近ずかないように注意してください。

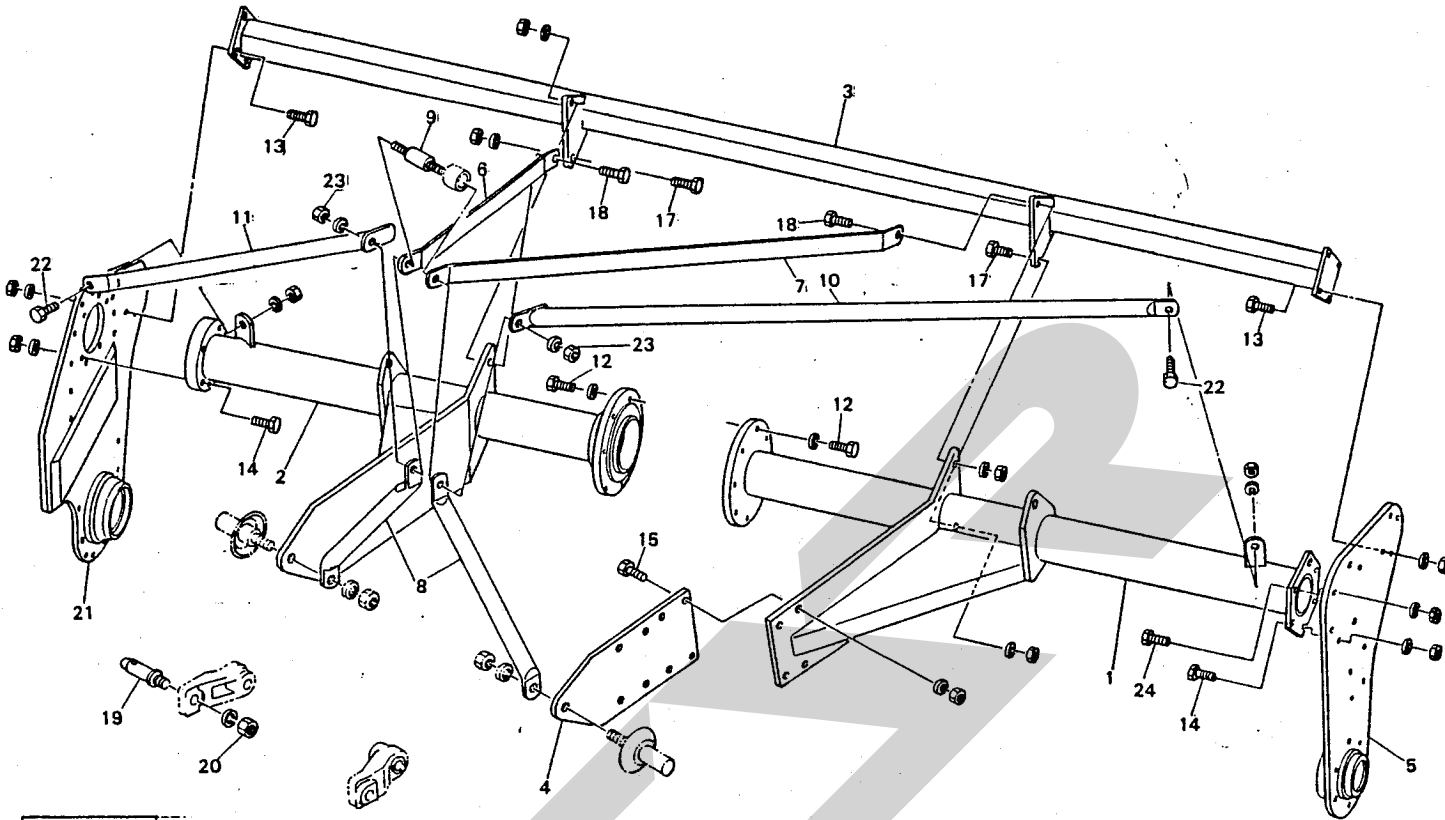
特に、ブレードは回転しているので手・足などが巻き込まれないようにしてください。





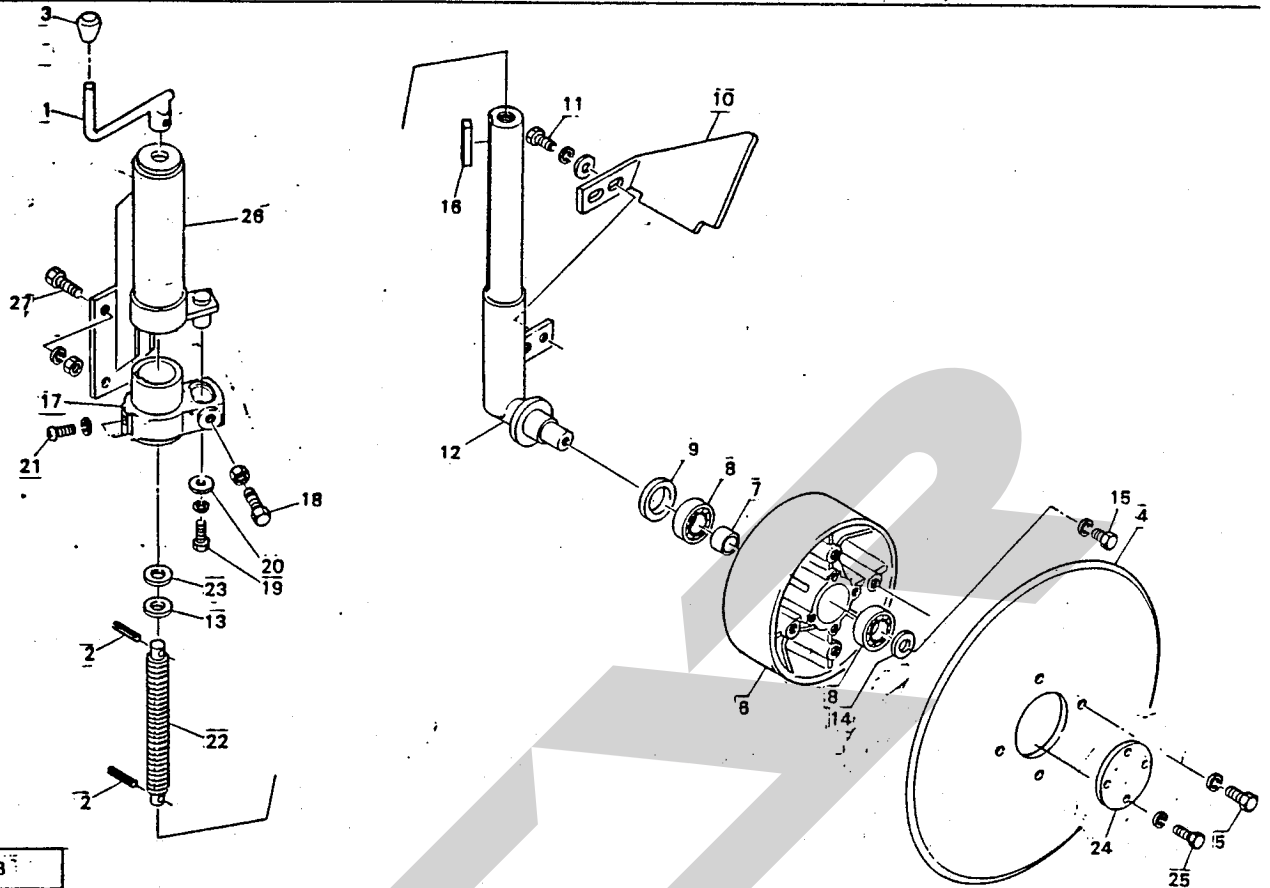
11335

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	77913	3Pフレーム;クイック	1				
2	77914	プレート	2				
3	77917	フック;R	1				
4	77921	フック;L	1				
5	66739	ロックピン	2				
6	67032	スプリング	2				
7	43343	スプリング	2				
8	77922	ピン	2				
9	77923	ローリンクブラケット	2				
10	77924	カラー	1				
●11	BZ1640WG	ボルト;M16x40(8.8)	2				
●12	NZ16WG	ナット;M16(8)	2				
●13	NZ20PWG	ナット;M20(8)	2				
●14	WS12G	Sワッシャ;M12	2				
●15	70B-3020	ドライメットプッシュ;70B-3020	2				
●16	ONAS6	グリースニップル;A-M6x1F	2				
17	00691	ニギリ;M12	2				
18	00098	トップリンクピン;I, II	1				
●19	PM1930	ベータピン;19x3	1				
20	77915	ローリンクピン	2				
●21	NZ24150WG	ナット;M24x1.5	2				
22	NZ12G	ナット;M12(8)	2				



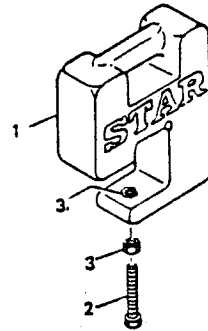
11336

見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	77998	フレーム; L MBP2210	1	21	77942	サイドプレート; R	1
	77945	フレーム; L MBP2212		●22	BZ2050AG	ナット; M22x50(8.8)	2
2	78001	フレーム; R MBP2210	1	●23	NZ20WG	ナット; M20	2
	77954	フレーム; R MBP2212		●24	BZ1250AG	ボルト; M12x50(8.8)	2
3	78004	サブフレーム MBP2210	1				
	77962	サブフレーム; 12 MBP2212					
4	77965	プレート	1				
5	77967	サイドプレート; L	1				
6	77977	ステー; R	1				
7	77978	ステー; L	1				
8	77823	ストラット	2				
9	77979	ボルト	1				
10	78015	ストラット; L MBP2210	1				
	77980	ストラット; L MBP2212					
11	78016	ストラット; R MBP2210	1				
	77981	ストラット; R MBP2212					
●12	BZ1230WG	ボルト; M12x30(8.8)	16				
●13	BZ1240AG	ボルト; M12x40(8.8)	8				
●14	BZ1245AG	ボルト; M12x45(8.8)	10				
●15	BZ1650AG	ボルト; M16x50(8.8)	4				
●17	BZ2060AG	ボルト; M20x60(8.8)	2				
●18	BZ2070AG	ボルト; M20x70(8.8)	2				
19	00006	ローワリンクピン; O・I MBP2210	2				
	00011	ローワリンクピン; II MBP2212					
●20	NZ22150WG	ナットM22x1.5 MBP2210	2				
	NZ24150WG	ナットM24x1.5 MBP2212					

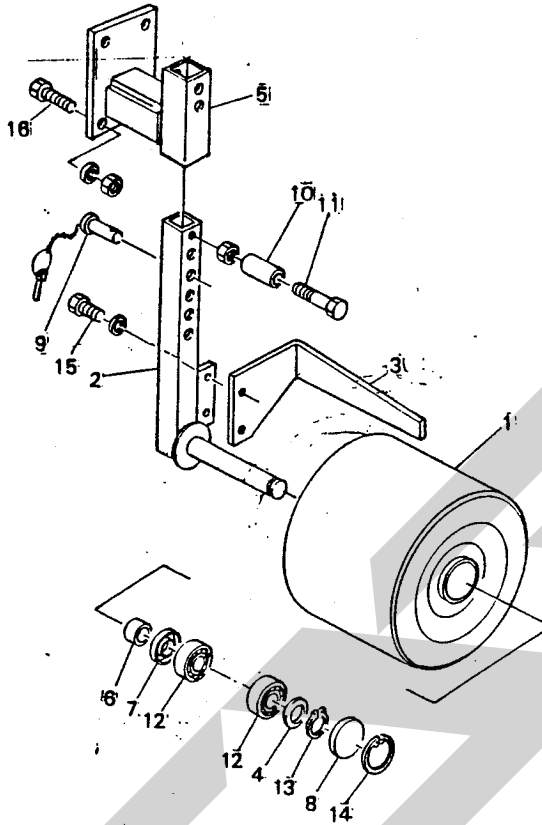


338

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	72852	ハンドル	1				
●2	PS8032	スプリングピン; 8X32	2				
3	00687	ニギリ; 16	1				
4	72719	コルタディスク; 20"	1				
●5	BZ1230WG	ボルト; M12X30(8.8)	4				
6	74466	ボス; 20"	1				
7	72859	スペーサ	1				
●8	J6206	ベアリング; 6206	2				
●9	UES406211	オイルシール; UES406211	1				
10	74581	スクレーパ; F	1				
●11	BZ1025APG	ボルト; M10X25(8.8)	2				
○12	74579	パイプ	1				
13	58616	ザガネ	1				
14	56189	ワッシャ	1				
●15	BZ1630WG	ボルト; M16X30(8.8)	1				
16	74691	ヘイコウキー; 65	1				
17	74305	ストッパ	1				
●18	BZA1250NG	ボルト; M12X50(全ネジ)(8.8)	2				
●19	BZ1230WG	ボルト; M12X30(8.8)	1				
20	67931	ワッシャ; 12	1				
●21	BC0620WG	ボルト(ステンレス); M6X20	1				
22	72877	シャフト	1				
23	72860	ワッシャ	1				
24	74467	プレート	1				
●25	BZ0816WG	ボルト; M8X16(8.8)	4				
○26	77987	ブラケット; コルタ	1				
●27	BZ1235AG	ボルト; M12X35(8.8)	4				

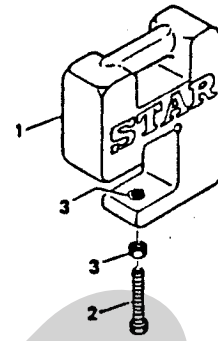
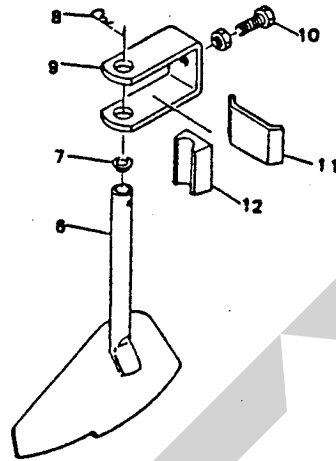


見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	72858	ウエイト 見 2,3付	5				
● 2	BZA1290G	ボルト; M12X90(全ネジ)	5				
● 3	NZ12G	ナット; M12	10				

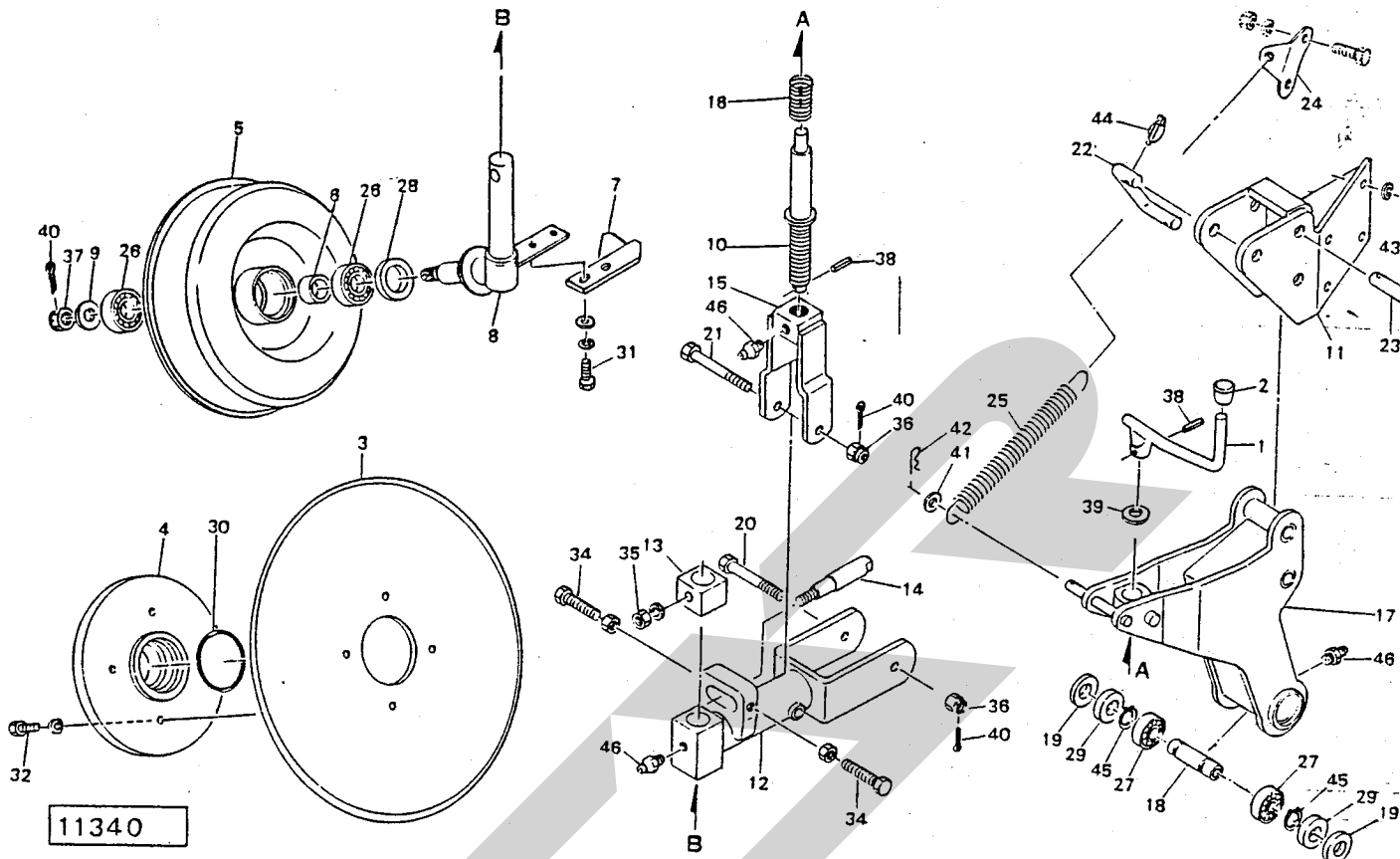


11339

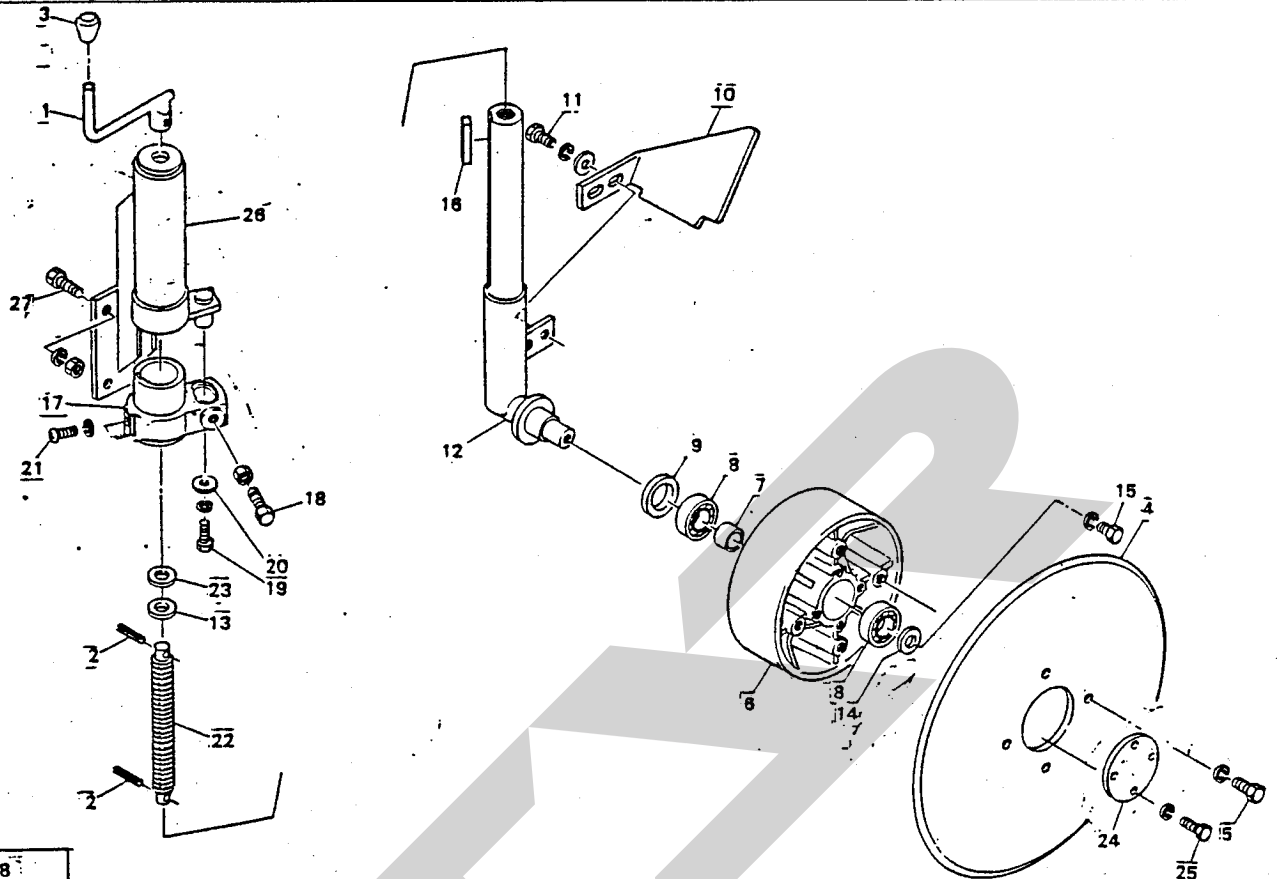
見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	77993	ゲージホイール	1				
2	77994	アーム	1				
3	77995	スクレーパ	1				
4	61568	カラー	1				
5	77996	ブラケット	1				
●6	SI404518	スリーブ; SI40x45x18	1				
●7	UES456812	オイルシール; UES456812	1				
●8	RCA6812	メクラセン; 68x12	1				
9	34200	ピン	1				
10	75151	カラー	1				
●11	BA12100NG	ボルト; M12x100	1				
●12	J6008	ベアリング; 6008	2				
●13	DC40	スナップリング; S40	1				
●14	DHC68	スナップリング; H68	1				
●15	BZ1230WG	ボルト; M12x30(8.8)	2				
●16	BZ1245AG	ボルト; M12x45(8.8)	4				



見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数	見出番号	部品番号	部 品 名 称	個数
1	72858	ウエイト 見 2,3付	1				
● 2	BZA1290G	ボルト ; M12X90 (全ネジ)	1				
● 3	NZ12G	ナット ; M12	2				
6	75889	スクレーパ	1				
7	76255	キャップ	1				
8	PM1930	ベータピン ; 19x3	1				
9	75890	チャンネル	1				
● 10	BZ1230NG	ボルト ; M12x30 (8.8)	1				
11	75891	プレート	1				
12	75892	ベース	1				
ASY	76250ASY	スクレーパ (組) 見 6~12付	1				



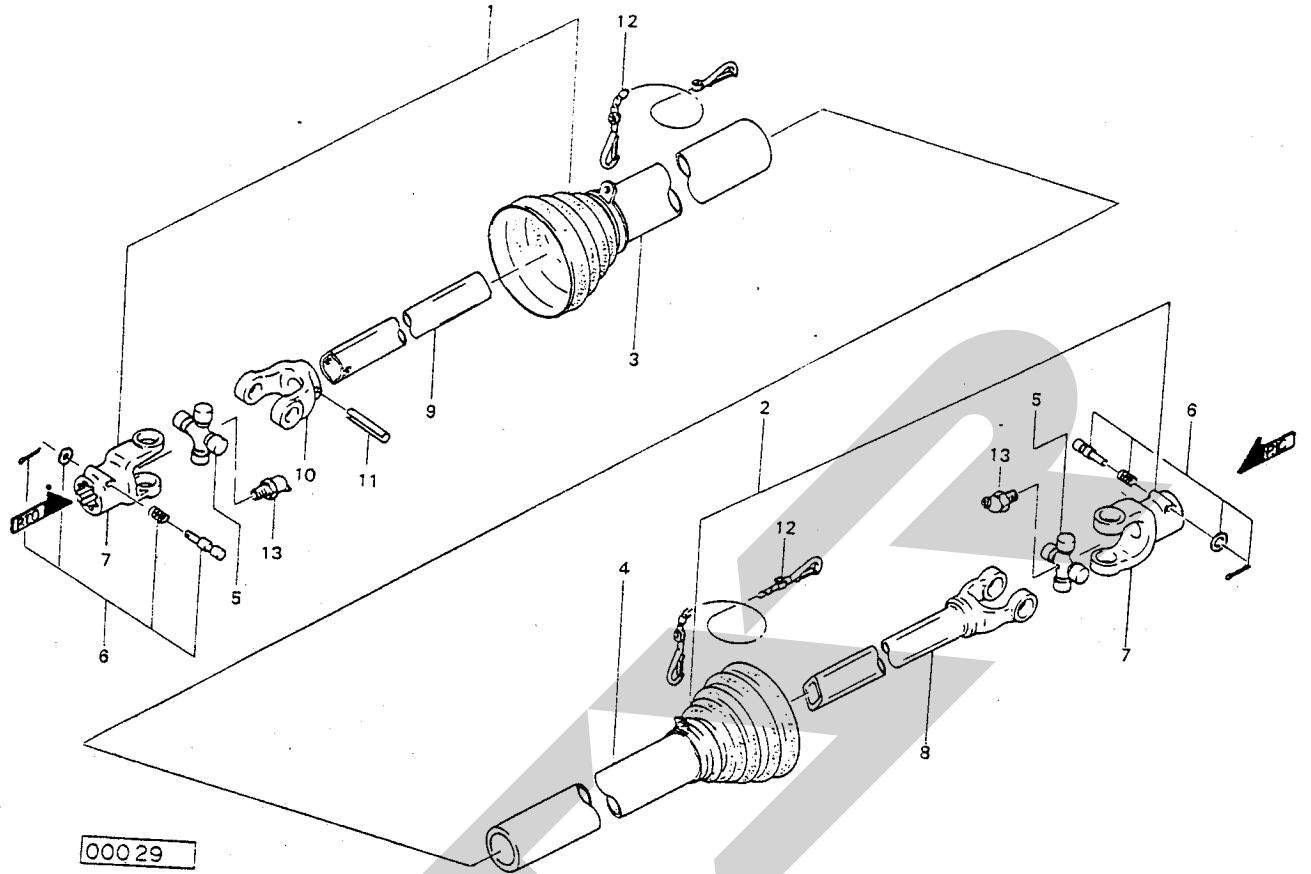
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	72852	ハンドル	1	●28	UES406211	オイルシール; UES406211	1
2	00687	ニギリ; 16	1	●29	UE25528	オイルシール; UE25528	2
3	72719	コールタディスク; 20"	1	●30	ORP75	○リング; P75	1
4	72862	リング; 20"	1	●31	BZ1025PWG	ボルト; M10x25 (8.8)	2
5	72866	ボス	1	●32	BZ1235WG	ボルト; M12x35 (8.8)	4
6	72859	スペーサー	1	●33	BZ1230AG	ボルト; M12x30 (8.8)	4
7	77960	スクレーパ	1	●34	BZA1265NG	ボルト; M12x65 (全ネジ) (8.8)	2
8	78011	シャフト	1	●35	NZ16WG	ナット; M16(8)	1
9	58616	ザガネ	1	●36	NC16150G	キャッスルナット; M16x1.5	2
10	78013	シャフト	1	●37	NC20150G	キャッスルナット; M20x1.5	1
11	72872	ブラケット	1	●38	PS8032	スプリングピン; 8x32	2
12	78012	アーム	1	●39	WRA20G	ワッシャ; M20	1
13	78002	ブロック	1	●40	PC3232G	ワリピン; 3.2x32	3
14	78003	ピン	1	●41	WRA16G	ワッシャ; M16	1
15	77986	フォークエンド	1	●42	PM1623	ベータピン; 16x2.3	1
16	78000	スプリング; 6x40x75	1	●43	PM1930	ベータピン; 19x3	2
17	77988	アーム	1	●44	PR09	リンチピン; 9	1
18	77983	パイプ	1	●45	DC25	スナップリング; S25	2
19	77984	ワッシャ; 55x25.5x6	2	●46	ONAS1	グリースニップル; A-PT1/8	3
20	78005	ボルト; M16x140 (8.8)	1				
21	78006	ボルト; M16x120 (8.8)	1				
22	72853	ピン	1				
23	72856	ピン	1				
24	77990	ブラケット; R	1				
25	77999	スプリング	1				
●26	J6206	ベアリング; 6206	2				
●27	J6205	ベアリング; 6205	2				



11338

見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	72852	ハンドル	1				
●2	PS8032	スプリングピン; 8X32	2				
3	00687	ニギリ; 16	1				
4	72719	コールドタディスク; 20"	1				
●5	BZ1230WG	ボルト; M12X30(8.8)	4				
6	74466	ボス; 20"	1				
7	72859	スペーサ	1				
●8	J6206	ベアリング; 6206	2				
●9	UES406211	オイルシール; UES406211	1				
10	74581	スクレーパ; F	1				
●11	BZ1025APG	ボルト; M10X25(8.8)	2				
○12	74579	パイプ	1				
13	58616	ザガネ	1				
14	56189	ワッシャ	1				
●15	BZ1630WG	ボルト; M16X30(8.8)	1				
16	74691	ハイコウキー; 65	1				
17	74305	ストッパ	1				
●18	BZA1250NG	ボルト; M12X50(全ネジ)(8.8)	2				
●19	BZ1230WG	ボルト; M12X30(8.8)	1				
20	67931	ワッシャ; 12	1				
●21	BC0620WG	ボルト(ステンレス); M6X20	1				
22	72877	シャフト	1				
23	72860	ワッシャ	1				
24	74467	プレート	1				
●25	BZ0816WG	ボルト; M8X16(8.8)	4				
○26	77987	ブラケット; コールドタ	1				
●27	BZ1235AG	ボルト; M12X35(8.8)	4				

パワージョイント



見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
		MBP2210用				MBP2212用	
ASY	6278-10ASY	パワージョイント; MD-80	1	ASY	6314-4ASY	パワージョイント; LA-80	1
1	6282-30	パワージョイント(オス)	1	1	6282-704	パワージョイント(オス)	1
2	6283-30	パワージョイント(メス)	1	2	6283-704	パワージョイント(メス)	1
3	6284-30	安全カバー(オス)	1	3	6284-27	安全カバー(オス)	1
4	6285-30	安全カバー(メス)	1	4	6285-27	安全カバー(メス)	1
5	6286-3	ジョイントスパイダー; MD	2	5	6286-6	スパイダ; LA	2
6	6287	クランプピン; 14	2	6	6287-1	クランプピン; 14	2
7	6226-3	ピン付ヨーク 見 6付	2	7	6226-11	ピン付ヨーク 見 6付	2
8	6210-311	パイプ付ヨーク	1	8	6210-704	パイプ付ヨーク	1
9	6216-311	パイプ	1	9	6216-604	パイプ	1
10	6228-8	フィッティングヨーク	1	10	6228-11	フィッティングヨーク	1
●11	PS1065	スプリングピン; 10x65	1	●11	PS1075	スプリングピン; 10x75	1
12	6244	フックチェーン	2	12	6244	フックチェーン	2
●13	ONBS1	グリースニップル; B-PT1/8	2	●13	ONBS1	グリースニップル; B-PT1/8	2

調整

S-850930A



本社・営業本部	066	千歳市上長都1061番地2	TEL 0123-26-1123
営業1部			FAX 0123-26-2412
本州事業所	328	下都賀郡大平町大字北武井72-1	TEL 0282-22-6222
			FAX 0282-22-6484
輸出部			TEL 0282-22-6411
			FAX 0282-22-6484
商品総合センター	066	千歳市上長都1061番地2	TEL 0123-26-1126
			FAX 0123-23-0517
関東センター	328	下都賀郡大平町大字北武井72-1	TEL 0282-22-6668
			FAX 0282-22-6125
札幌営業所	066	千歳市上長都1061番地2	TEL 0123-22-5131
			FAX 0123-26-2412
旭川営業所	070	旭川市神楽4条9丁	TEL 0166-61-613
			FAX 0166-62-8985
浜頓別出張所	098-57	枝幸郡浜頓別町字智福ホクレン宗谷機械センター内	TEL 01634-2-3177
			FAX 01634-2-4118
帯広営業所	080-24	帯広市西22条北1丁目12番地	TEL 0155-37-3080
			FAX 0155-37-5187
北見営業所	090	北見市小泉302	TEL 0157-24-3880
			FAX 0157-24-1344
中標津営業所	086-11	標津郡中標津町西6条北2丁目	TEL 01537-2-2624
			FAX 01537-3-2540
盛岡営業所	020-01	盛岡市みたけ2丁目4番7号	TEL 0196-41-4811
			FAX 0196-41-5529
青森出張所	034	十和田市東12番町18番31号	TEL 0176-22-9151
			FAX 0176-22-9152
仙台営業所	983	仙台市福田町2丁目4-20 佐正ビル内	TEL 0222-58-7301
			FAX 0222-59-2285
関東営業所	328	下都賀郡大平町大字北武井72-1	TEL 0182-22-6811
			FAX 0282-22-627
松本営業所	399-65	松本市大字芳川村井町高畑942-	TEL 0263-58-2850
			FAX 0263-58-1195
名古屋営業所	483	江南市古知野町牧森227	TEL 05875-4-5231
			FAX 05875-4-8144
岡山営業所	700	岡山市下中野703番地	TEL 0862-43-1147
			FAX 0862-43-1269
熊本営業所	862	熊本市長嶺町2255-429	TEL 096-381-7222
			FAX 096-384-3525
宮崎営業所	885	都城市花繰町14号6-2	TEL 0986-23-0724
			FAX 0986-24-7567